

V-Lowマルチメディア放送の サービスイメージ

2013年7月26日

株式会社エフエム東京

①放送エリア

7つの地域ブロック

→“きめ細やかな”地域情報配信が可能

②免許主体

地域の企業・組織連合体

→地域の活性化に貢献

③ 端 末

- カーナビ
- スマートフォン・タブレット・電子書籍等
- 公共デジタルサイネージ …etc.

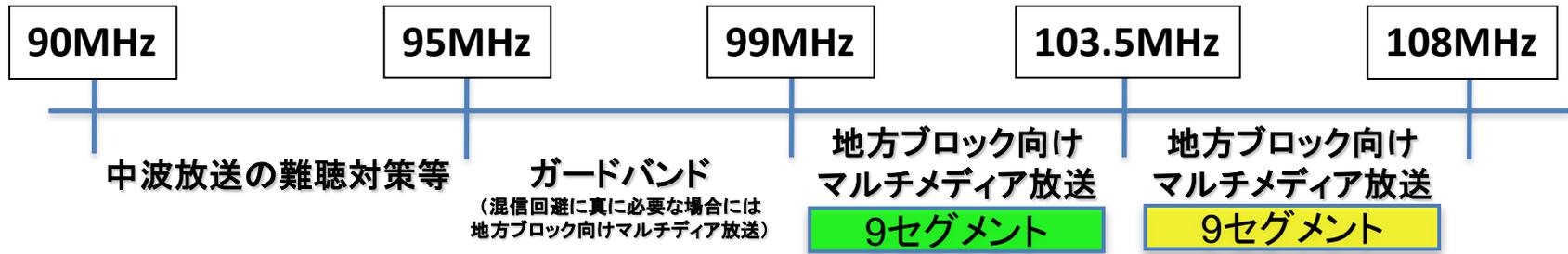
④コンテンツ

地域の活性化・安心安全に寄与するコンテンツ

- カーナビ向け情報配信
- タブレット向け情報配信
- 公共サイネージ向け情報配信 …etc.

基幹放送局提供事業（ハード事業）の 計画

「V-Lowマルチメディア放送」の展開ロードマップ



エリア展開



2018年

5年かけて全国カバー



高速道路展開



■置局スケジュール(案)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度～2018年度
北海道				◎札幌 △旭川 △函館 △室蘭 △帯広 △釧路
東北				◎仙台 ○青森 ○盛岡 ○秋田 ○山形 ○福島 △会津若松 △鶴岡
関東・甲信越	◎東京 △宇都宮 △前橋 △日立			○新潟 ○長野 ○甲府
東海・北陸			◎名古屋 ○静岡 △浜松 △伊豆長岡 △津	○富山 ○金沢 ○福井
近畿	◎大阪 △大津 △奈良 △和歌山 △姫路			
中国・四国				◎広島 ○岡山 ○鳥取 ○松江 ○山口 ○高松 ○徳島 ○松山 ○高知 △尾道 △呉 △萩 △下関 △浜田 △新居浜 △宇和島
九州・沖縄	◎久留米 △福岡 △北九州	○佐賀 ○長崎 ○大分 ○熊本 ○宮崎 ○鹿児島 ○那覇 △佐世保 △鹿屋		
高速道路 新幹線		NEXCO西日本内高速(九州道・長崎道・大分道・山陽道・本四高速)にGF設備を設置	東名、名神高速道路にGF設備を設置～ 中央道・関越道・東北道にGF設備を設置	
◎ブロック親局数※	3(3)	0(3)	1(4)	3(7)
○県域中継局数※	0(0)	7(7)	1(8)	19(27)
△中継局数※	9(9)	2(11)	3(14)	14(28)
合計※	12(12)	9(21)	5(26)	36(62)

※()内は累計値

■建設する送信所の構成(当初5年計画)

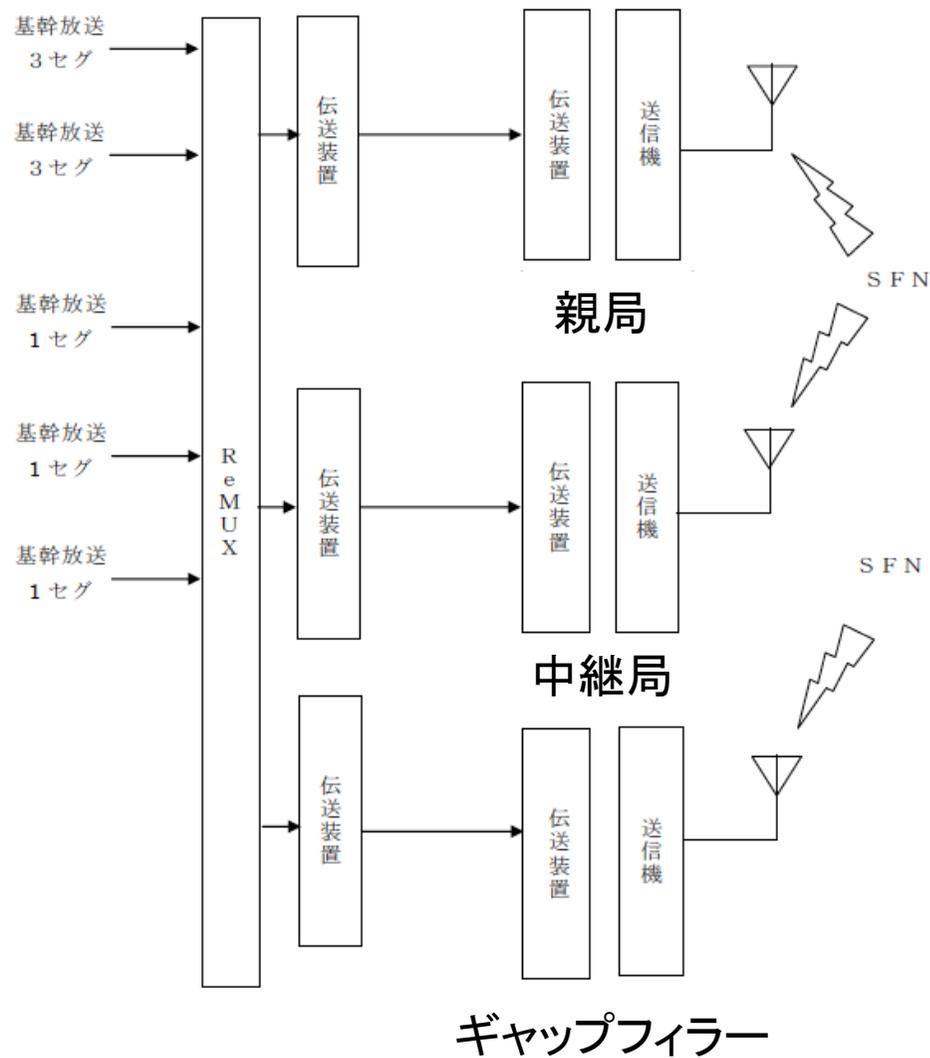
1. 親局・中継局

空中線電力	局数	内訳
500W超 10kW以下	42	FM共用:25 新規:17
50W超 500W以下	18	FM共用:10 新規: 8
50W以下	2	FM共用: 1 新規: 1
合計	62	FM共用:36 新規:26

2. ギャップファイラー

空中線電力	局数	内訳
3W以下	520	全て新設

■ハード事業者の設備概要



サービスイメージ

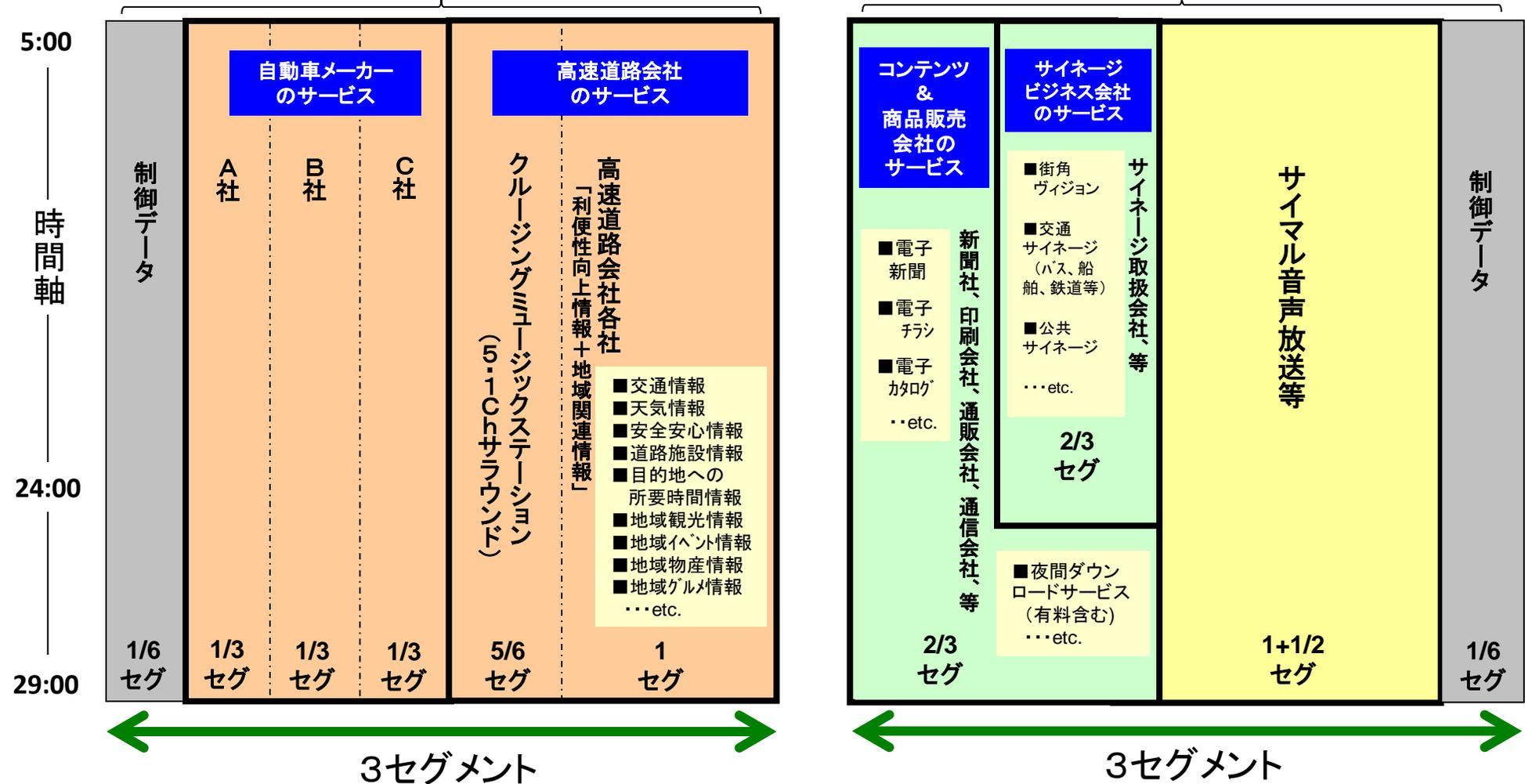
■ソフト会社 帯域使用想定イメージ (ブロック毎に詳細は異なります)

Channel-V部門

高速道路会社、自動車会社
(テレマティクス連動チャンネル)

Channel-Lo部門

サイネージビジネス会社、コンテンツ&商品販売会社
(新聞・チラシ・公共交通サイネージなど情報物流)



Channel-V = Channel-Vehicle

(テレマティクス連動チャンネル)

【端末】

- 車載機

【番組内容】

- ドライバー向け音楽番組とデータ配信の組み合わせ

【音声】

- ①24時間・5.1サラウンド
- ②(ドライバー向け)音楽コンテンツ中心
- ③広域情報(全国&地域ニュース・天気予報・その他)

【安全安心】

- ①(高速)道路走行に関する安心安全情報
- ②SA/PA関連情報
- ③広域情報(地域観光情報・地域物産イベント情報等)

ドライバーに特化した専門チャンネル

ドライバーに必要とされる情報だけを必要な時にお届け。

心地よい車内空間を創造する音楽コンテンツ中心の番組構成。

とはいえ、安全安心情報は画面を見ていなくてもすぐに耳に入る音声読み上げ方式で提供。全ての安全安心情報が手に入るから「Channel-V」だけで大丈夫。

走行エリア周辺のSA/PA情報や地元観光・イベント・物産情報などを提供。ドライブの楽しさをなお一層向上。地元地域の活性化・地産地消の推進。

高速を利用していないドライバーでも楽しめる。寧ろ高速に乗りたくなるかも…？
運転中は兎に角「Channel-V」という習慣を。

...etc.etc.

CP例

高速道路会社等

カーナビメーカー等

宿泊施設(チェーン系)等

自動車メーカー等

地方自治体・観光協会等

観光施設(グループ系)等

...etc.etc.

■「Channel-V」における主な配信情報コンテンツ例

①交通情報

- 高速道路の渋滞や混雑情報
- 道路清掃・工事情報
- 工事予告情報
- その他

②緊急・警告情報

- 事故発生時
- 逆走発生時
- 荷物落下時等の事故に直結しかねない緊急を要する情報

③運転支援情報

- 天候情報
- 路面状態情報等
ドライバーにとって快適に
運転するために
役立つ情報

④施設情報

- 施設関連情報
- 歳時記等のイベント
- 食事お薦め情報
- 地域製品の紹介
- 地元経済活性化に直結する情報

⑤全てのドライバー向け情報(高速道路上を走行中のドライバーに限定せず)

- 一般道路の交通情報やインターチェンジの利用等に関する「高速道路に乗るまでの情報」
- インターを降りてからの利便施設など「高速道路を降りてからの情報」
- 土日祝日のみならず各地で開催される
イベント情報・観光情報・地元物産情報＋高速道路関連情報などを組み合わせた「高速道路を利用して遠出をしたくなる」エリア誘引情報… etc.etc.

「Channel-V」車載端末向けの安心安全情報サービス

マルチメディア放送における安心安全情報コンテンツには様々な提供情報項目が存在しますが、ここではその中の一部を車載端末向け配信イメージとして紹介します。

【緊急地震速報】等の表示



【ゲリラ豪雨など天候情報・路面情報】等の表示



【渋滞情報・事故情報・緊急情報】等の表示



Channel-Lo = Channel-Logistics

(放送波による電子的情報物流)

【端末】

- ① パーソナル端末(フोटフレーム型・タブレット型端末)
→マルチメディアルーター連動等を含む
- ② 公共サイネージ(街頭・鉄道・バス・船舶・その他)
- ③ その他、各CP独自端末等

【番組内容】

- ① 音声+静止画
- ② 公共サイネージ用動画

【音声】

- ① FMと同等レベルの総合編成・地元FMイメージ
- ② (ながら聴取向け)トークコンテンツ中心
- ③ 狭域情報(地域ニュース・生活情報・その他)

【安全安心】

- コモンズ・地域密着(防災・防犯/地域コミュニティの再生)

【その他】

- マルチメディア放送の機能を活用したコンテンツ・サービスの提供もこの領域にて展開

地元
に
密
着
し
た
地
域
住
民
の
た
め
の
コ
ン
テ
ン
ツ
構
成

日常生活の中で“毎日”“いつでも”“ながら聴取”でき、マルチメディア放送が“新たなラジオ”として身近な存在として感じることでできるメディア環境を提供。

地域住民が地域生活を快適に楽しくかつ安全・安心に過ごすことを支援する**各種地域関連情報(地域ニュース・地域生活情報等)**を中心としたコンテンツ構成の実現。

単なる情報配信機能のみではなく、地元生活における**生活利便性向上や地域コミュニティや社会の絆の再生**に寄与するなど、地元主導型の地域活性化促進を目指す。

現在課題となっている**子育て・教育支援コンテンツ**の充実や**防災・防犯情報**など緊急情報の割込発信機能の付加など地域生活におけるワンストップメディアを目指す。

エコな放送(ex.省電力化・端末の簡易化・統合的コンテンツ配信による省力化)を目指し、幅広い世代の聴取者からの長期間に亘る聴取機会の獲得を目指す。

...etc.etc.

CP例

新聞社・出版社等

広告代理店・印刷会社等

各種情報配信会社等

音楽会社・映像会社等

観光会社・交通機関等

デジタルコンテンツ保有会社等

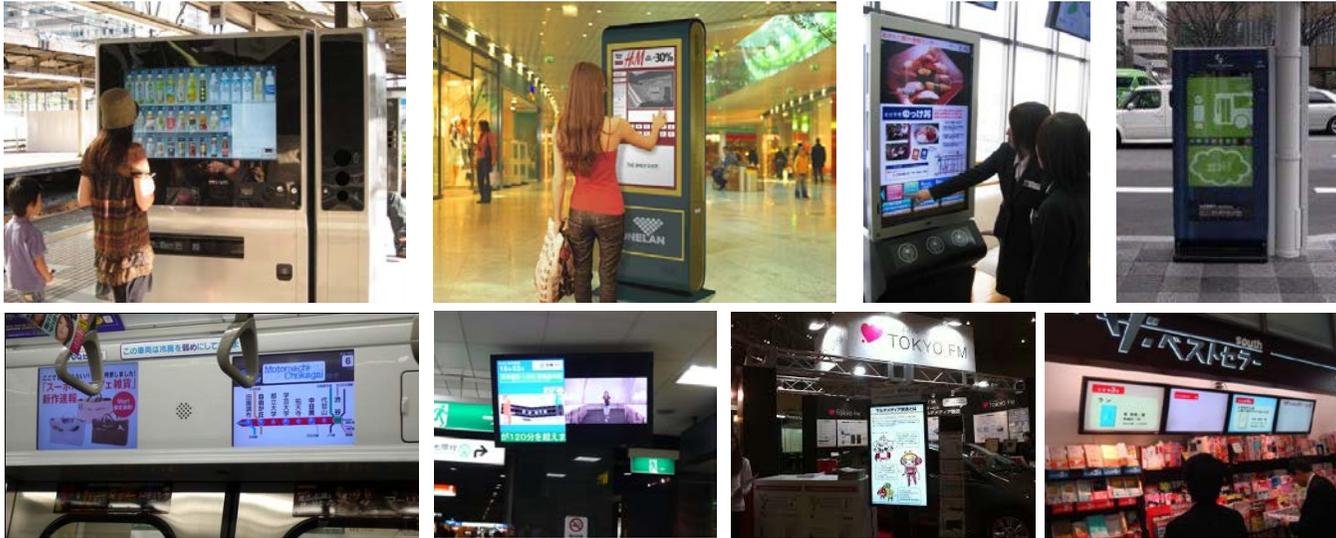
...etc.etc.

●パーソナル端末(タブレット型端末/スマートフォン端末)への配信



■公共スペース等におけるデジタルサイネージへの情報配信サービス

公共サイネージ



緊急災害時には一斉に災害情報を配信

バスや電車のような公共交通の車両の中に設置された移動体サイネージに対し、放送波でリアルタイムにコンテンツを更新することができる。

一方、街ナカ・駅ナカに設置されたサイネージや、自販機の液晶画面を使って、非常時の安全安心情報配信ができるようV-LOWチューナーが入っていれば、通信がダウンしている折であっても安定的に速報することが可能になる。



特に地下街設置のサイネージへの緊急災害時情報配信を推進 (都市型災害対策)



【福岡ユビキタス特区実験】

福岡ユビキタス特区マルチメディア放送の電波を使って西鉄バス内設置のデジタルサイネージへのコンテンツ配信の実証実験を行った。

【実験内容】

走行中のバスに、バス内設置のデジタルサイネージに表示するコンテンツの更新をマルチメディア放送波を使用して行った。放送波の一斉同報と即時性を活かし、緊急情報配信もできるようにした。

■西鉄バス内デジタルサイネージ



■緊急災害時表示コンテンツ例

